

## 最新刊紹介！



『ノイズ・キャンセル』 持田冥介著

高校入学を控えた春休み、草は不思議な美術館に迷い込む。幾つもの奇妙なルール、完全無音の青の世界、壁一面に飾られた変な絵。迷路ではじまる悪意のゲーム。この極限から脱出できるか？

『何かの家』 静月遠火著

その家には約束事がある。それは決して一人で入ってはいけないということ。例の家には必ず誰か一人が囚われて、次の人が来ない限り永遠に出られなくなってしまう、というもので。

これは、家にまつわるひと夏の物語。

湧き起こる違和感の数々。あなたは果たして気づけるか？



## 新庄北高最上校図書館 12月開放カレンダー

12月図書館企画 クリスマス特集「大切な人に贈りたい本！」

日	月	火	水	木	金	土
1	2	③	④	5	6	7
8	9	⑩	⑪	12	13	14
15	16	⑰	⑱	19	20	21
22	23 レク大会	24 終業式	25 冬季休業	26 冬季休業	27 冬季休業	28 冬季休業
29 冬季休業	30 冬季休業	31 冬季休業	※○数字の日が開放日です。			

## 2024 第4回 映画鑑賞会 in 最上校

「あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。」



夕見夏衛著

主演：福原遥・水上恒司

親や学校、すべてにイライラした毎日を送る中 2 の百合。母親とケンカをして家を飛び出し、目をさますとそこは 70 年前、戦時中の日本だった。偶然通りかかった彰に助けられ、彼と過ごす日々の中、百合は彰の誠実さと優しさに惹かれていく。しかし、彼は特攻隊員で、ほどなく命を懸けて戦地に飛び立つ運命だった——。のちに百合は、期せずして彰の本当の想いを知る…。

期 日：12月4日（水）

時 間：午後3時50分～

場 所：PC室



※参加希望者は 11月29日(金)まで、各クラスの申込用紙に氏名を記入すること。

# 寒い夜にオススメの新刊!



## 『ヒカリノオト』 河邊徹著

時に慰め、時に励まし、彼らの人生の岐路に寄り添っていた一つの音楽が、場所や時間を超えて広がっていく奇跡を、ミュージシャンとしての経験を持つ著者がみずみずしく描いた連作短編小説。

## 『一番の恋人』 君嶋彼方著

千風への思いを捨てられない一番と、普通になりたい千風。

恋愛感情では結ばれない二人にとっての愛の形とは?

## 『六月のぶりぶりぎっちょう』 万城目学著

京都の摩訶不思議を詰め込んだ「静」と「動」の2篇。

## 『黄昏のために』 北方謙三著

画家である「私」は、今日も独り、絵を描いている。

モチーフは人形薔薇、動物の頭骨、階段。裸婦は描くが、風景画は描かない。物は物らしく、あるべき姿を写し取る。ふた月に一度アトリエに訪れる画商・吉野に絵を売り、腹が減ったら肉を焼いて食べる。秋には山で枯れ葉を集め、色を採集する。対象を見、手指を動かす。

自分がほんとうに描きたいものを見出すまで。

## 『怖い怪談』 松原タニシ著

事故物件怪談、間取り図、心霊写真、呪われた絵、心霊スポット、見たら死ぬ夢…、戦慄の怪異の世界をお楽しみください。

## 『フェイクドキュメンタリーQ この人、行方不明』

フェイクドキュメンタリーQ 著

エレベーターで失踪した女性がカメラに向かって訴えていたことを明らかにしたりといった内容が明らかに!?

考察好きの方にとって、答え合わせの要素も含んだ短編集。

## 『わたしの知る花』 町田そのこ著

虫も殺せぬ優男、結婚詐欺師……? 77歳で孤独死した老人の、誰も知らない波瀾に満ちた意外な人生とは?



## 『狐花 葉不見冥府路行』 京極夏彦著

歌舞伎の舞台化のために書き下ろされた、長編ミステリ。

## 『籠の中のふたり』 薬丸岳著

母が結婚する前に父親の安彦に送った手紙を見つけ、自身の出生に関わる衝撃の秘密を知る。二人は全ての過去と罪を受け入れ、本当の友達になれるのかもっともハートフルな物語が誕生。最後に芽生える真の友情に、あたたかい涙が止まらない!

## 『雷と走る』 千早茜著

幼い頃海外で暮らしていたまどかは、番犬用の仔犬としてローデシアン・リッジバックの虎と出会った。

唯一無二の相棒だったが、一家は帰国にあたり、犬を連れて行かない決断をする。

## 『マザー』 乃南アサ著

5つの短編に待ち受ける、予想外の驚愕の結末! あなたはもう、以前の家族には戻れない。衝撃の令和の家族像。「母という禍、家庭という地獄。」

ひょっとして獄吏は自分自身なのかもしれない

## 『臨床のスピカ』 前川ほまれ著

寄り添い、寄り添われ、生きていく。犬と人との関係を通じ、人と人との心地よい距離と自分自身のありようを見つめ直していく。命の現場を舞台に、現役看護師の著者が描く希望の物語。

## 『穢れた聖地巡礼について』 背筋著

過去に動画で取り上げた心霊スポットの追加取材を行い、ネットなどで集めた情報をもとに、読者が喜びそうな考察をでっちあげていく。

## 『イツツ・ダ・ボム』 井上先斗著

日本のバンクシーと耳目を集めるグラフィティライター界の新鋭ブラックロータス。公共物を破壊しないスマートな手法で鮮やかにメッセージを伝えるこの人物の正体、そして真の思惑とは。うだつの上がらぬウェブライターは衝撃の事実に向き着く。

## 『愛しさに気づかぬうちに』 川口俊和著

そばにいたのにすれ違ってしまった人達の、再出発の物語。

